



【連絡先】住所：八幡平市田頭 39-72-2

電話：0195-75-2233 FAX：0195-75-2269

住所：岩手郡岩手町大字五日市 9-48 (岩手町駐在)

電話：0195-75-2233 FAX：0195-75-2269

新年度を迎えて 八幡平農業改良普及センター所長 田野島 義人

昨年度よりお世話になっております八幡平農業改良普及センターの田野島と申します。引き続き、よろしくお願いいたします。

今年の春は、盛岡の3月の月平均気温が統計開始(1924年)以来、最高を更新し、また、桜の開花は、平年より15日早い4月3日になるなど、記録的に暖かい年となっております。このことから、春の農作業が例年よりも早まっているものと考えております。

昨年の当管内(八幡平市、葛巻町、岩手町)の農作業死亡事故は、3件発生しており、5月に2件、10月に1件の発生で、うち2件はトラクターの横転など農業機械に関係するものでした。

農作業死亡事故については、農業従事者の高齢化や農業機械の大型化、トラクターで行う仕事は一人作業になることが多く、事故が起こっても発見が遅れることなどから、就業者10万人当たりの死者数が他産業よりも多いことが特徴です。農業者の皆様におかれましては、①作業機の脱着時に巻き込まれないようエンジンを切る②トラクター等はスピードが遅いため一般道での車の追突を避けるため「低速車マーク」を付ける③圃場の出入口などの傾斜がある場所でのトラクターの転倒を防止するため真っすぐに出入りする④家族へ帰宅時間を知らせる⑤ヘルメット、シートベルトの装着等の励行をお願いします。

農業を取り巻く状況は、農業従事者の減少や深刻化するウクライナ情勢を背景に燃料や配合飼料、肥料の価格が高騰し、生産費が上昇するなど厳しい状況が続いております。

このような状況の中、普及センターでは、関係機関・団体の方々との連携し、就農相談会の開催や労働力軽減につながる「りんどう」収穫のICT導入に係る現地実証、「ほうれんそう」の夏期期間の安定生産支援、「キャベツ」等への化学肥料低減に向けた指定混合肥料を活用した栽培実証を行うとともに、畜産分野では、外部支援組織(キャトルセンター、TMRセンター、公共牧場)の活動支援、自給粗飼料の安定生産や繁殖成績向上に向けた情報発信等を引き続き行うこととしております。



今年度は本所13名、岩手町駐在7名の合計20名体制で活動して参ります。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5月8日以降、5類に移行されることから、感染症対策を講じながら、女性農業者を対象にした交流会、農業後継者を対象とした栽培・飼養管理研修会や先進地視察など、これまで自粛していた対面での研修会等を多くし、参加者同士の交流の場の提供に努めて参りたいと考えております。

結びに、今回の人事異動により新たに加わった4名を含めた20名の職員により、現地への直接的な御支援を基本に農業者の皆様のお役に立てるよう活動して参りますので、引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

八幡平農業改良普及センター 組織体制図

【所長】
田野島 義人

経営指導課 大規模経営体の経営高度化、競争力のある経営体の確保・育成

【課長】住川 隆行 …… 佐藤 千秋 三上 峻

[岩手町駐在]

【課長】池野 圭祐 …… 高畑 博志 高橋 拓也 伊藤 孝浩
砂子田 慎一郎 昆野 有芽 浅沼 奏歩

産地育成課 ほうれんそうやりんどう等の産地力向上、特色ある水田営農推進

【課長】伊藤 勝浩 …… 松浦 拓也 石川 聡子 佐藤 正一 小崎 洋平

地域指導課 新規就農者支援、女性農業者の活躍促進、農村ビジネスの振興

【課長】土田 泰輔 …… 畠山 公子 阿部 陽 郡司 政宏

定期人事異動 転入者紹介

①氏名 ②職名 ③前任地 ④着任して一言



- ① 佐藤 千秋 (さとう ちあき)
- ② 上席農業普及員
- ③ 奥州農業改良普及センター
- ④ 念願の八幡平に異動✂ 農業経営体の育成を担当します。よろしくお祈いします。



- ① 阿部 陽 (あべ よう)
- ② 上席農業普及員
- ③ 盛岡農業改良普及センター
- ④ 今年度から新規就農者等の担い手支援を担当します。よろしくお祈いします。



- ① 浅沼 奏歩 (あさぬま かなほ)
- ② 技師
- ③ 県南広域振興局農政部 一関農林振興センター
- ④ 県内有数の畜産産地での勤務に緊張もありますが精一杯頑張ります。



- ① 三上 峻 (みかみ しゅん)
- ② 技師
- ③ 新採用
- ④ 農業経営体育成を担当します。前職の経験も活かして、皆様のお役に立てるよう頑張ります。



皆様よろしくお祈いします！



○新たに農業を始めた方、就農を検討している方はいませんか？

普及センターでは、農業を始めた方々への栽培管理指導や経営計画づくりなどのサポート、就農を検討している方々に対しての相談等を受け付けています。

普及事業パートナーの皆さんの周りに、新たに就農した方や、農業を始めたいと考えている方がいらっしゃいましたら、普及センターに相談してみるようお伝えください。

○4月15日～6月15日は「春の農作業安全月間」です！！

今年度のスローガン：農作業 慣れと油断が 事故のもと

春は耕起、代かきや田植えなど繁忙期に当たりますが、農業機械の基本操作を守り、無理のないスケジュールで作業を行いましょう！

山火事注意！

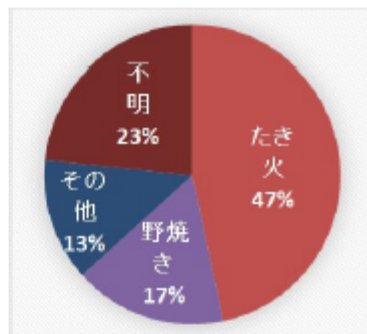
山火事原因の大半は人為的なものです！

県内の令和4年の主な山火事の原因は、人為的な「**たき火（47%）**」「**野焼き（17%）**」で全体の**6割以上を占めています**。

「大丈夫だろう」という安易な気持ちで野焼きをし、延焼してしまった事例が多く発生しています！

図 岩手県における令和4年の山火事原因

3～5月は空気が乾燥します！
盛岡玉山（H26）、紫波・石鳥谷（H9）など過去の大規模な山火事は、**4～5月に発生**しています。
記憶に新しい平成29年の釜石大火も**5月に発生**しました。



山火事防止のポイント！

万が一にも山火事が起きないように、地域で声掛けをしましょう！

- ・ 強風時や乾燥時には、野焼等をしない
- ・ 火災が起こりやすい枯れ草等のある場所では、野焼き等をしない
- ・ 完全に消火するまで、たき火の場所を離れない
- ・ 森林の周囲1kmの範囲での火入れは、市町村長の許可を必ず受ける



【盛岡広域振興局林務部】019-629-6613
【盛岡農業改良普及センター】019-629-6730
【八幡平農業改良普及センター】0195-75-2233
【盛岡地区山火事防止対策推進協議会】

例年3～5月は野山が乾燥して山林火災が起きやすい条件です。強風時や乾燥時には野焼きなどを行わないなど、山火事が起きないように、注意しましょう。

農作業 慣れと油断が 事故のもと

令和5年度 岩手県農作業安全スローガン



トラクターに安全フレーム装着！
運転者はシートベルト着用！



水分、塩分補給など熱中症対策
を十分に！



強風・乾燥時は野焼きをしない！
作業は、準備と注意をしっかりと！



家族に作業場所と帰宅時刻を知らせよう！
携帯電話を携帯しよう！

農業者の方も労災保険に特別加入できます。
万が一の事故の際に確実な補償を受けられるように検討しましょう。

春の農作業安全月間 4月15日(土)～6月15日(木)

秋の農作業安全月間 9月15日(金)～11月15日(水)